

No.

2022 年度 国語 科 シラバス

山形県立長井高等学校

科目	論理国語	単位数	2	週時間数	2	年次・コース・組	2年 探究コース 5組
使用教材	『精選論理国語』 「精選論理国語 学習課題ノート 小説三選」 「精選論理国語 学習課題集」「カラー版 新国語便覧」						

目 標	①実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ②主体的に学習する態度を土台として、国語の基礎力である知識・技能を活用して情報を精査・解釈する力を身に付ける。 ③国語を的確に理解し、適切に表現する力の土台として、ものの見方・感じ方・自分の考えの形成に役立てる態度を養う。
-----	---

身につけてもらいたい力

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	ステップ3 本文中の常用漢字・語句・語彙・文章の組み立てや接続について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨を把握することができ、内容を、文章の構成や展開を工夫し、十分な理解を与える記述や説明ができています。情報を相互に関係づけながら書き手の意図まで解釈し、構成や論理展開を評価することができています。また、作品世界を通して自身の知識や経験と関連付けながら、考えを形成することができています。	個別の方法をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。筆者の提言に対する自己の意見を積極的に考え、表現の仕方を工夫して書こうとしている。
	ステップ2 本文中の常用漢字・語句・語彙・文章の組み立てや接続について、指示された言葉の意味と働きを理解している。	内容や構成、論理の展開を一応捉え、要旨を把握することができ、文章の構成や展開、表現の仕方を理解して、自分の考えをまとめることができています。情報を相互に関係づけ、内容を理解することができています。	個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉えようとしている。また、筆者の提言に対する自己の意見を書こうとしている。
	ステップ1 本文中の常用漢字・語句・語彙・文章の組み立てや接続について、指示された言葉の意味と働きを理解していない。	内容や構成、論理の展開を捉えることができておらず十分な説明ができていない。また、得られた情報が自身の知識や体験とは結びつかず、自身の考えを深めることができていない。	個別の情報をどのように一般化しているかを捉えようとしていない。筆者の提言の理解、自分の考えの表明に不十分な点がある。
評価方法	定期試験、授業時の観察、課題テスト、小テスト	定期試験、授業時の観察、作文や小論文、発表、話し合い、課題テスト、小テスト	授業に取り組む姿勢や意欲 課題等の取り組み 自己評価シート

※この評価基準(目標)により評価しますが、各単元の目標や難易度によって達成度が変わってきます。

それらを考慮しながらA、B、Cの評価をし、またそれを基に5段階の評価がつけます。

授業の形態、方法

説明によって得た知識や考え方をともに、自身でしっかりと考えて論理を組み立てます。話すこと・書くことをはじめとしてさまざまな手法で発表を行います。自分の考えを持ち、ほかの生徒の皆さんと積極的に意見を交わしてください。また、単元で学習したテーマを他の文章や身近な例を用いて考えます。

担当者より

・「授業」に全力になってください。授業中の問いかけは、全て自分自身に対するものだと思え、ひたむきに考えましょう。 ・「論理」国語です。それぞれの話題がどのようにつながっているかを読み取り、また発表の際も論理を意識しましょう。 ・「ノート」は自分や仲間、クラスの思考の過程を記録する大切な道具です。先生や仲間の発言・気づきで大切だと思ったことを記録したり、自分が知らなかった言葉の意味をまとめたりして、自分だけのノートを作りましょう。 ・「読書」は現代文の力を伸ばす方法の1つです。

学習計画

月	単 元 名	予定時数	学 習 の 内 容 と ね ら い	実施時数
4	いつもそばには本があった 国分功一郎	5	- 本文の話題に関心を持ち、筆者の考えを大まかに理解する。 - 具体と抽象の関係、対比の関係、原因と結果の関係を理解し、論理的な文章の読み方を習得する。 - 論理の展開と文章の構成をつかみ、論旨を正確に把握する。 - 読書の意義について筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。	
5	論理とはなにかⅠ つなげる力・論証する力	3	- 書かれている内容を理解し、「論理的」とはどういうことを学ぶ。 「接統関係」について学び、文章を論理的に理解する力を養う。 - 論証の適切さを判断する方法を学び、説得力のある論証や反論を行う力を養う。	
	<前期中間試験Ⅰ>	1		
6	山月記 中島敦	7	- 背景→内面→言動の連鎖関係を理解し、小説の読み方を習得する。 - 作者について知り、生涯にわたって文学に親しむために必要な教養としての文学史的知識を習得する。 - 舞台や主人公の境遇、人物像を把握し、読みとりに活かす。 - 特徴的な表現とその効果を理解することで、読みとりを深める。 - 心情の変化をとらえることで、主題についての考えを深める。 - 小説を読んで考えたことを文章にまとめる。	
	<前期中間試験Ⅱ>	1		
7・8	論理とはなにかⅡ 要約する力・質問する力	2	- 書かれている内容を理解し、「論理的」とはどういうことを学ぶ。 - 文章の構造を理解し、適切に要約する力を養う。 - 質問の意義や種類を学び、よい質問をする力を養う。	
	小論文	3	- 原稿用紙の使い方や言葉の使い方を学び、自分が文章を書く際に生かせるようにする。 - 指定された文章を要約することができる(書く)。 - 意見文の書き方を理解し、実践する(書く)。 - 書いた文章を進んで批評し、批評を踏まえて、文章の構成・展開や表現を工夫する(話す)。	
9	相手依存の自己規定 鈴木孝夫	6	- 本文の話題に関心を持ち、筆者の考えを大まかに理解する。 - 具体と抽象の関係、対比の関係、原因と結果の関係を理解し、論理的な文章の読み方を習得する。 - 論理の展開と文章の構成をつかみ、論旨を正確に把握する。 - 言語と社会についての筆者の考えにふれ、生涯にわたってものの見方・感じ方・考え方を豊かにしていく態度を養う。	
	<前期期末試験>	1		
10	メディアの変容 土井隆義	7	- 現代の人間関係の在り方を論じた評論を読み、自分の考えを深める。 - 挙げられている事例と筆者の分析の関係に注意して読み、人間関係の在り方について考えを深める。 - 情報、意味、論証を区別しながら読解する力を養う。 - 複数の文章を比較検討する場合の読み方を習得する。	
11				
	<後期中間試験>	1		
12	こころ 夏目漱石 平和学習(修学旅行前)	10	- 背景→内面→言動の連鎖関係を理解し、小説の読み方を習得する。 - 作者について知り、生涯にわたって文学に親しむために必要な教養としての文学史的知識を習得する。 - 舞台や主人公の境遇、人物像を把握し、読みとりに活かす。 - 特徴的な表現とその効果を理解することで、読みとりを深める。 - 心情の変化をとらえることで、主題についての考えを深める。 - 小説を読んで考えたことを文章にまとめる。 - 戦争と平和について考えを深める。	
1				
2・3	『である』ことと『する』こと 丸山真男	8	- 社会と人間の在り方を主題とする評論を読み、自己の価値観と照らし合わせて考える。 - 例示と意見の関係を整理して主張を捉え、変化する社会における人間の在り方について考える。	
合計時数		55		